

歳末にあたりまして、居住者の皆様方のご理解とご協力に感謝を申し上げます。公平・公正を基本とした組織方針で、平穏で「安心」「安全」な生活を最優先に運営をすすめて参ります。今後とも、管理組合・自治会へのさらなる関心と積極的なご参加をお願い申し上げます。 <役員一同>

【年末年始の管理業務】

- 休業期間 12月30日(土)～1月3日(水)
- 始業日 1月4日(木)
- 休業期間中の緊急連絡先
☎0120-79-0726(日本ハウズイング緊急センター)
☎000-0000-0000(管理員 〇〇〇〇)

設置するか？しないか？ ～検討をすすめます～ (EV充電設備の設置)

二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「脱炭素化」の流れが世界中で加速しています。日本でも 2020 年 10 月、日本政府が発表した「2050 年カーボンニュートラル宣言」において、2050 年までに脱炭社会を実現し、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが目標として掲げられました。

この「2050 年カーボンニュートラル宣言」を踏まえ 2021 年 6 月に「グリーン成長戦略」が策定され、自動車、蓄電池産業においては、2035 年までに乗用車の新車販売で、電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCEV)、プラグインハイブリット車(PHEV)、ハイブリッド自動車(HV)の次世代自動車100%が実現できるよう、包括的な措置を講じることとされています。

世界的にも電動化への動きが今後、加速することが予測されることから、日本の既存マンションにおいても電気自動車(EV)、プラグインハイブリット車(PHEV)に対応した充電設備(以下、充電設備という。)の導入は避けて通れないものといえます。

暮らしのメモ帳

日頃からルールを守り、駐車場をご利用いただきありがとうございます。

「来客用」は、お客様専用の駐車スペースです。居住者の駐車はお控えください。ただし、荷物の積み下ろしや乗り降りのために短時間(20 分以内)の停車には自由にご利用ください。

(!注!)「居住者も 20 分以内なら駐車できる」ということはありません。

緊急車両等が出入りすることもあり、重大な事故に関わることも心配されます。居住者の安心・安全のため、「来客用」は常時空いているよう、引き続きご協力をお願いいたします。

「明日、大切なお客様が…、でも駐車場が心配…」

こんな時、管理事務所ににご相談ください。親身になって対応し、代替え駐車スペースを確保できることがあります。

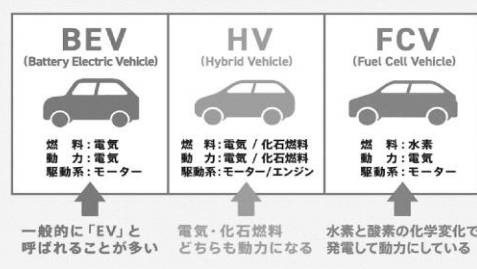
休日は、役員が同様の対応をします。なお、曜日や時間帯などによって確実に確保できないこともありますのでご了承ください。



EV (Electric Vehicle) = 電動車両



電気を“動力”に変換して動く車



28 日(木)が最終日(可燃ゴミ)、新年は 4 日(木)から

年末年始の 12/29(火)～1/3(日)は、収集がありません

今年最後の = 燃えないゴミ = 20(水)、プラ資源 = 26(火)です。

毎回、ゴミの指定日にきちんと出していただきありがとうございます。お陰様で敷地内が整頓されています。ゴミを出す時はルールを守り、新年もきれいな環境で迎えましょう。

しっかり分別！ 分ければ・資源!! 混ぜれば・ゴミ!!
ゴミ出しは(特に生ごみ)、ネットをしっかりとかぶせて出しましょう!!



Q 電気自動車(EV)って何？

A 電気自動車(EV)＝電気の力でモーターを駆動させて走る車です。
一般的な車が燃料をエンジン内で燃焼させて生み出す力を動力にして走るのに対し、電気自動車はバッテリー蓄えた電気でモーターを駆動させて走る車です。
モーターとエンジンの両方を使って走るハイブリッドカー(HEV)やプラグインハイブリッドカー(PHEV)と区別するために、電気自動車は BEV(Battery Electric Vehicle)と呼ばれることもあります。

Q なぜ、今、電気自動車をすすめるの？

A 電気自動車が急に注目を集めるようになったのは、世界的な脱炭素化の流れが大きな理由です。
燃料を燃やして走る車はどうしても CO2(二酸化炭素)を排出します。自動車メーカーはこれを減らすためにさまざまな技術開発をしていて、そのひとつが電気自動車です。
化石燃料を使わないで走る電気自動車は、走行中に CO2 を排出しません(製造から廃車までのライフサイクルで見ると電気自動車も CO2 を排出しています)

電気自動車(EV)のメリット・デメリット

メリット	デメリット
・エンジン車では味わえないレスポンの良さ	・充電に時間がかかる
・圧倒的な静粛性	・現状、インフラが充実しているとは言えない
・走行中は CO2 を排出しない	・エンジン車と比べて高価
・購入時に補助金が出る(新車のみ)	・バッテリー交換が必要になると高額の出費に

①クリーンエネルギー自動車導入促進補助金(CEV 補助金)が 2024 年も継続される見通しとなりました。経済産業省が 2023 年度補正予算案に②関連予算 1291 億円を盛り込み、補助金の執行団体の募集も始まりました。

① クリーンエネルギー自動車導入促進補助金(CEV 補助金)とは

クリーンエネルギー自動車導入促進補助金(CEV 補助金)とは、電気自動車・プラグインハイブリッド車・燃料電池自動車などの導入を支援する補助金です。(新車購入時に限ります)
運輸部門は日本の CO2 排出量の約 2 割を占めており、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、環境性能に優れたクリーンエネルギー自動車の普及が重要だと政府は位置づけています。

補助金例

メーカー	車種	グレード	補助額
トヨタ	プリウス	PHEV	55万円
	RAV4	PHEV	55万円
日産	アリア	B6 limited	92万円
	リーフ	e+ X	85万円
	サクラ	S	55万円

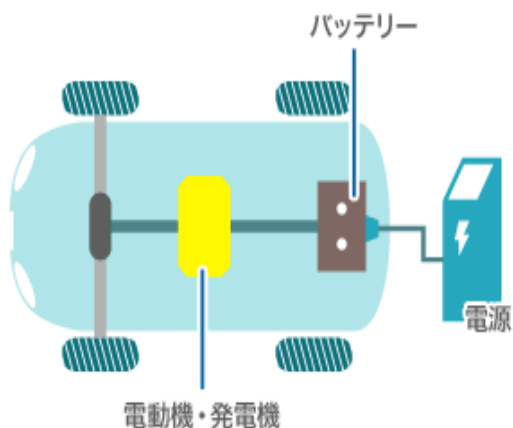
② 充電・充てんインフラ等導入促進補助金には 400 億円

関連する補助金には、クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金があり、2023 年度補正予算案に 400 億円を計上しました。

電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の充電設備の購入費および工事費や、V2H 充放電設備の購入費及び工事費、外部給電器の購入費を補助します。

主な電気自動車(EV)の種類

電気自動車(EV)



車両特性

○エンジンがないので、騒音・振動が少ない

○モーター駆動による走行のため、発進は力強く加速もスムーズ

○航続距離【一充電走行距離】

▶ 250～700km 程度

※2022 年度末時点の CEV 補助対象車両のデータより(普通自動車の場合)。

○充電時間は、急速充電器なら約 30～60 分で 80%の充電が可能

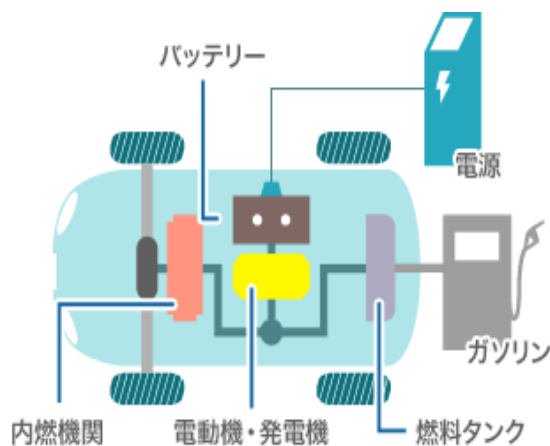
○停電時に家電製品等に電気を供給する機能等、電源としての利用が可能な車種がある

環境面

○電気でするので走行中は CO₂ や有害ガスなどを含んだ排気ガスが出ない

○エネルギー源の多様化に貢献

プラグインハイブリッド自動車(PHV)



車両特性

○外部から充電できるハイブリッド自動車(HV)で、EV モード、HV モードでも走行できる

【電気だけの走行可能距離(EV 走行換算距離)】

▶ 40～100km 程度

※2022 年度末時点の CEV 補助対象車両のデータより。

○停電時に家電製品等に電気を供給する機能等、電源としての利用が可能な車種がある

環境面

○外部から充電した電力を上手に使い EV モードでの走行を多くすることで、ガソリンの消費量を抑え、CO₂ 排出量を削減できる

さらに詳しい資料などをご覧いただけます。(ホーユパレス・ホームページ)



お知らせ	
2023/10/13	10月28日(土)は、管理組合と自治会の総会が開かれます。当会室は、19日(木)までにご案内いたします。
2023/10/04	第7回理事会(合同総会)。
2023/08/20	第6回理事会(合同総会)。
2023/07/25	エントランス入り口上部の修繕工事をいたしました。緑を赤化、雨漏りなどため込みの箇所も修繕を継続しました。
2023/07/23	4年ぶりに夏の半端な花火大会を開催しました。(7月23日(日)午後6時～)多くの参加で楽しいイベントになりました。

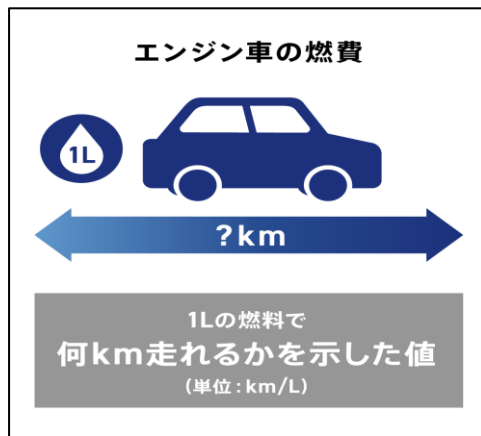
管理組合では、インターネットを利用して活動内容や運営、最新情報などをご覧いただけるよう「ホームページ」を開設しています。最近の出来事のほか、これまでのお便りや行事、案内などを詳しくご覧いただける広報活動の一環です。

スマートフォンをお持ちの方は、右のQRコードで「ホーユパレス・ホームページ」を開くことができます。パソコンの場合は、右アドレスからアクセスできます。ご不明なことなどありましたら、お気軽にお問い合わせください。



<https://hypfm.lsv.jp/>

電費(デンピ)? ナニ? ソレ?



エンジン車の場合、「1Lの燃料で何km走ることができるのか」を示したものを「燃費」と言います。カタログなどには「20km/L」などと記載されていて、この数字が大きいほど走るのに使う燃料が少ない「燃費のいい車」ということになります。

エンジン車の“燃料”のように「1Whで何km走るのが(km/Wh)」と示してもよいかもしれませんが、カタログには国のルールに則り「1km走るのにどれだけの電力量が必要か(Wh/km)」が「電費」として掲載されています。

Q 充電器を付けると資産価値が上がるってホント?

- A 今後、充電器は必須の設備となり、資産価値の向上につながる可能性が高いです。
今後EVの普及が進んでいく中で、マンションに充電設備を導入することは、居住者がEVを導入・利用しやすくなるとともに、住戸の売買や賃貸を行う際にも好影響を与える可能性が考えられます。逆に、充電器がないと今後資産価値が低下し、そういったマンションは選ばれなくなる可能性もあります。

Q 車に乗らない人にもメリットはあるの?

- A マンション自体の資産価値の向上につながるため、メリットがあります。
資産価値の向上はマンション全体にとってのメリットです。災害に強いマンション地震などの災害時において、停電が起こると普通の生活を送ることが困難となります。しかし電気自動車は、容量の大きなバッテリーを備えているため、外部給電器を使うことで、電源として活用することができます。管理組合において、災害時における利用方法等のルールを定めることによって、住民のスマートフォンの充電に使えるなど、生活を維持することが可能となります。

今、普通充電器の設置が必要な?

- ・他にやるべきこと(優先すべきこと)があるのではないか。(例:受水槽の修理など)
- ・30余年の古い施設、新しい設備を導入する意味(価値)があるのだろうか?
- ・EV車などを買うことはない。高齢化していて自分には関係ない。
- ・他の設備にもっとお金を使って、住みよい環境にして欲しい。
- ・普通充電器を設置しても利用する(できる)人がどれだけいるのか?

「よく分からない」「もっと詳しく知りたい」などのご意見や疑問点などがあることでしょう。十分な理解がないと、正しい判断ができません。そのため、内容を詳しく理解するための設置業者による説明会(2月に予定)やアンケートなどを実施する予定です。ぜひ、多くの皆様のご参加をお願いします。